

9月



保健だより

平成30年9月4日

保育園夢未来 二俣川園



まだまだ暑い日が続いていますが、トンボが飛んでいたりと少しずつ秋の訪れを感じられるようになりました。季節の変わり目は、大人も子どもも体調を崩しやすくなります。衣服の調節や手洗い、うがい等を習慣づけ、健康に過ごしたいですね。

また、これからの季節は、様々な感染症も流行しやすくなります。

入園・進級の際にお配りした感染症一覧に、「医師の治癒証明書が必要な病気」「保護者記入の登園届が必要な病気」が区分されていますのでご覧ください。

ご不明な点は園長、職員までおたずねください。

お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

概ね1歳～2歳頃の 「かみつき」とは？



概ね3歳～4歳になりますと、お友達との関わりの中で、相手の「思い」を知る、「我慢」を知る、「譲る」という事を覚え、自分の気持ちを「言葉」で表現することができるようになりますが、概ね1歳～2歳の子どもたちは、「もの」や「空間」の共有をすることがまだまだ難しいために、「おもちゃ」「手の届くもの」「自分の周りの空間」・・・が『自分のもの』と誤ってしまいます。また、お友だちが楽しそうに遊んでいる「おもちゃ」などに興味を示して、それを取ろうとしてしまいます。そして、「かみつき」はそうした中で発生することであり、子どもたちの成長の証であると言われています。従って、かみつきをする子が「気の強い子」「いじわるな子」「情緒が不安定な子」・・・では決してありません。また反対に、かみつかれてしまう子についても、将来いじめられるのでは・・・などにご心配することは決してないと思います。専門家の中には、かみつきは生理的な行動であり、そのような行動をとらないことの方が心配であると言われる方もいます。

※概ね生後26カ月頃を過ぎて参りますと、言葉も少しずつ増え、自分の気持ち[くやしき、もどかしき、怒り、悲しみ、・・・]などをコントロールする力(感動調律)を学び、かみつく、泣く、ということが少しずつ減ってきます。

保育園におきましても、「かみつき」の気配を保育士が感じ取り、未然に防いだり、子どもたちが安全に、安心して過ごせるよう、発生を抑制する遊びの工夫をしておりますが、それでも、成長の過程として「かみつき」が発生することがあると思いますので、ご家庭の皆様のご理解と御支援を何卒お願い致します。

〇〇ちゃんだーいすき！
・・・(かぷっ)
(愛情表現のつもりで)

このおもちゃつかってたのにー
・・・(かぷっ)
(思い通りにいかない時)

ここぼくのばしょだからこないでよー
・・・(かぷっ)
(気持ちを十分に伝えられない時)

(たまたまお友達の手が自分の口元にきて)
この手なんだろう？(かぷっ)
(小さい子は何でも口で確かめようとします)



ねむくてイライラしているの(かぷっ)
(体調が悪い時)

突然ですが靴は足に合っていますか？…9月から散歩が少しずつ始まりますので確認をお願い致します。
ブカブカの靴や小さくなった靴は、足が動かず、脱げたり、転んだりして事故の原因になります。また、足に合わない靴を履いていると、思いっきり遊べません。週末には清潔に洗い、足に合っているかどうか点検しましょう。